

## レバレッジ比率に関する開示事項

## 1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(第一面)

(単位 百万円)

(2023年度中間期)

項番 (国際様式 (LR1) の該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
1	連結貸借対照表における総資産の額	7,730,207	
2	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	1,356,359	
5	顧客資産のうち、連結貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 24,221	
8a	デリバティブ取引等に関する額	34,658	
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	58,879	
9	レポ取引等に関する調整額	219	
9a	レポ取引等に関する額	219	
9b	レポ取引等に関する額 (△)	—	
10	オフ・バランス取引に関する額	105,521	
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	8,423	
12	その他の調整項目	△ 52,028	
12a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	16,675	
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	29,911	
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	5,442	
12e	連結レバレッジ比率の範囲又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	
13	総エクスポージャーの額	6,394,914	

(注1)「国際様式(LR1)の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により令和元年十二月十五日に公表された「Consolidated framework . DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR1に記載された番号を指します。

(注2)規制改正により様式変更となった為、前中間期末については旧様式にて開示致します。

(第二面)

(単位 百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	6,285,055	
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	5,442	
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	8,423	
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	16,675	
7	オン・バランス資産の額 (イ)	6,254,515	
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	21,635	
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	13,023	
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	34,658	

(単位 百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	219	—
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	—
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	219	—
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	424,178	—
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	318,656	—
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	105,521	—
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	431,228	—
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	6,394,914	—
25	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	6.74	—
26	適用する所要連結レバレッジ比率又は所要持株レバレッジ比率	3.00	—
27	適用する所要連結レバレッジ・バッファ率又は所要持株レバレッジ・バッファ率	0.00	—
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	6,394,914	—
	日本銀行に対する預け金の額	1,356,359	—
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	7,751,274	—
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))	5.56	—
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	6,394,914	—
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ロ)	7,751,274	—
31	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	6.74	—
31 a	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ロ))	5.56	—

(注1)「国際様式 (LR2) の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により令和元年十二月十五日に公表された「Consolidated framework . DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR2に記載された番号を指します。

(注2) 規制改正により様式変更となった為、前中間期末については旧様式にて開示致します。

## (2022年度中間期) (旧様式による開示)

(単位 百万円)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
オン・バランス資産の額				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額		5,929,858
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額		6,012,096
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)		—
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)		—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)		82,238
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)		31,109
3		オン・バランス資産の額 (イ)		5,898,748
デリバティブ取引等に関する額				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額		—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額		34,254
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額		—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額		11,243
		デリバティブ取引等に関連して現金で差入れた証拠金の対価の額		17,773
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差入れた担保の対価の額		—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差入れた証拠金の対価の額		—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)		—
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額		—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)		—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)		63,271
レポ取引等に関する額				
12		レポ取引等に関する資産の額		—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)		—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額		1,517
15		代理取引のエクスポージャーの額		—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)		1,517
オフ・バランス取引に関する額				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額		1,056,525
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)		878,875
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)		177,650
連結レバレッジ比率				
20		資本の額 (ホ)		392,761
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)		6,141,188
22		連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))		6.39%
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)		6,141,188
		日本銀行に対する預け金の額		855,427
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)		6,996,615
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率または持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))		5.61%

(注)「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1および表2に記載された番号を指します。

## 2. 前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因(当該差異がある場合に限る。) 該当ございません。

### 3.単体レバレッジ比率の構成に関する開示事項 (2023年度中間期)

(第一面)  
(単位 百万円)

項番 (国際様式 (LR1) の 該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
1	貸借対照表における総資産の額	7,708,448	
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	1,356,359	
5	顧客資産のうち、貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 24,221	
8a	デリバティブ取引等に関する額	34,658	
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	58,879	
9	レボ取引等に関する調整額	219	
9a	レボ取引等に関する額	219	
9b	レボ取引等に関する額 (△)	—	
10	オフ・バランス取引に関する額	99,352	
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	9,356	
12	その他の調整項目	△ 44,255	
12a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	8,901	
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	29,911	
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	5,442	
13	総エクスポージャーの額	6,373,827	

(注1)「国際様式 (LR1)の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により令和元年十二月十五日に公表された「Consolidated framework . DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR1に記載された番号を指します。

(注2)規制改正により様式変更となった為、前中間期末については旧様式にて開示致します。

(第二面)  
(単位 百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の 該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	6,263,297	
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	5,442	
4	レボ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	9,356	
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	8,901	
7	オン・バランス資産の額 (イ)	6,239,596	
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	21,635	
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	13,023	
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	34,658	
レボ取引等に関する額 (3)			
14	レボ取引等に関する資産の額	—	
15	レボ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	
16	レボ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	219	
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	
18	レボ取引等に関する額 (ハ)	219	

(単位 百万円、%)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	362,549	
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	263,197	
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	99,352	
単体レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	417,607	
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ハ)	6,373,827	
25	単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ハ))	6.55	
26	適用する所要単体レバレッジ比率	3.00	
27	適用する所要単体レバレッジ・バッファ比率	0.00	
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ハ)	6,373,827	
	日本銀行に対する預け金の額	1,356,359	
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ハ')	7,730,187	
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ハ'))	5.40	
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	6,373,827	
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	7,730,187	
31	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	6.55	
31 a	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	5.40	

(注1)「国際様式(LR2)の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により令和元年十二月十五日に公表された「Consolidated framework . DIS80 Leverage ratio」と題する文書の表LR2に記載された番号を指します。

(注2)規制改正により様式変更となった為、前中間期末については旧様式にて開示致します。

## (2022年度中間期) (旧様式による開示)

(単位 百万円)

国際様式 (表2) の 該当番号	国際様式 (表1) の 該当番号	項目	2023年度中間期	2022年度中間期
オン・バランス資産の額				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額		5,910,730
1a	1	貸借対照表における総資産の額		5,992,968
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)		82,238
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)		25,809
3		オン・バランス資産の額 (イ)		5,884,920
デリバティブ取引等に関する額				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額		—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額		34,254
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額		—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額		11,243
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額		17,773
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額		—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額		—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)		—
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額		—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)		—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)		63,271
レポ取引等に関する額				
12		レポ取引等に関する資産の額		—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)		—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額		1,517
15		代理取引のエクスポージャーの額		—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)		1,517
オフ・バランス取引に関する額				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額		1,049,474
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)		872,534
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)		176,940
単体レバレッジ比率				
20		資本の額 (ホ)		379,764
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)		6,126,650
22		単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))		6.19%
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)		6,126,650
		日本銀行に対する預け金の額		855,427
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')		6,982,077
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))		5.43%

(注)「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1および表2に記載された番号を指します。

#### 4. 前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因(当該差異がある場合に限る。) 該当ございません。